

2022年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月12日

上場会社名 ミクロン精密株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6159 URL <http://www.micron-grinder.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榊原 憲二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 遠藤 正明 TEL 023-688-8111
 四半期報告書提出予定日 2022年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第3四半期の連結業績（2021年9月1日～2022年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第3四半期	3,383	18.2	189	11.4	1,105	124.2	756	123.7
2021年8月期第3四半期	2,861	△17.5	170	0.4	492	33.9	338	43.3

(注) 包括利益 2022年8月期第3四半期 860百万円 (92.4%) 2021年8月期第3四半期 447百万円 (82.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第3四半期	125.88	—
2021年8月期第3四半期	55.86	—

(注) 「1株当たり四半期純利益」の算定上、「取締役向け株式交付信託」及び「社員向け株式交付信託」が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第3四半期	14,488	12,698	87.4
2021年8月期	13,245	11,927	89.8

(参考) 自己資本 2022年8月期第3四半期 12,669百万円 2021年8月期 11,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2022年8月期	—	0.00	—		
2022年8月期（予想）				7.00	7.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 2021年8月期期末配当金の内訳 普通配当6円00銭 記念配当2円00銭

3. 2022年8月期の連結業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,064	26.3	376	29.9	445	△29.8	299	△35.0	49.87

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 「1株当たり当期純利益」の算定上、「取締役向け株式交付信託」及び「社員向け株式交付信託」が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年8月期3Q	7,706,100株	2021年8月期	7,706,100株
② 期末自己株式数	2022年8月期3Q	1,712,282株	2021年8月期	1,672,608株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年8月期3Q	6,012,525株	2021年8月期3Q	6,058,332株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「取締役向け株式交付信託」及び「社員向け株式交付信託」が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に緩和され、経済活動の正常化が進み、持ち直しの動きが拡大されているものの、中国主要部で続いていたロックダウンやウクライナ情勢の影響が懸念され、原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクもあり、先行き不透明な状況が続いております。

当工作機械業界におきましては、依然として新型コロナウイルスの影響があるものの、内需は活発な設備投資の動きがあり、堅調さを持続し、外需は北米を中心に高水準の需要が継続している状況となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響は、企業活動や経済など広範囲に及んでおり、当社グループ（当社及び連結子会社）においても、海上輸送の遅れや一部の海外において人の移動が制限される等の影響を受けております。新型コロナウイルス感染症は、ウイルスの変異によって流行を繰り返しており、収束の時期を予測することは困難であることから、当面は当該感染症の影響が継続するものと見込んでおります。また、当社は外貨建資産を保有していることから、為替相場の変動による影響を受けております。

このような経営環境の中におきまして、当社グループは感染対策に万全を期したうえで、市場及びお客様の期待に合致した製品づくりの追求を行いながら、全社的なコスト削減の実施に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、3,383百万円（前年同四半期比18.2%増）となりました。利益につきましては、営業利益で189百万円（同11.4%増）、為替差益を814百万円計上したこと等により経常利益で1,105百万円（同124.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益では756百万円（同123.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,043百万円増加し、9,457百万円となりました。これは主に、有価証券が277百万円減少したものの、現金及び預金が1,240百万円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて199百万円増加し、5,030百万円となりました。これは主に、有形固定資産が76百万円減少したものの、投資有価証券が280百万円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて486百万円増加し、1,549百万円となりました。これは主に、未払法人税等が169百万円、短期借入金が150百万円、賞与引当金が108百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて14百万円減少し、239百万円となりました。これは主に、株式給付引当金が12百万円、役員株式給付引当金が11百万円それぞれ増加したものの、繰延税金負債が35百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて770百万円増加し、12,698百万円となりました。これは主に、利益剰余金が707百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年10月8日に公表した「2021年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載しております業績予想から変更はありません。

なお、2022年8月期第3四半期連結累計期間（2021年9月1日～2022年5月31日）において、営業外収益に為替差益を814百万円計上しておりますが、今後の為替相場の状況により当該金額は変動するため、現時点におきましては業績予想の修正はしていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,539,799	5,780,029
受取手形及び売掛金	495,704	383,952
電子記録債権	449,168	380,595
有価証券	778,040	500,236
半製品	393,668	397,816
仕掛品	1,438,362	1,600,408
原材料及び貯蔵品	250,750	296,157
その他	69,616	119,173
貸倒引当金	△1,009	△826
流動資産合計	8,414,102	9,457,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,704,334	1,649,763
機械装置及び運搬具(純額)	271,934	256,182
土地	733,496	735,631
建設仮勘定	90,390	83,010
その他(純額)	52,079	50,865
有形固定資産合計	2,852,234	2,775,454
無形固定資産		
無形固定資産	7,841	15,458
投資その他の資産		
投資有価証券	1,865,692	2,145,883
退職給付に係る資産	24,096	24,096
繰延税金資産	3,203	—
その他	78,686	70,145
貸倒引当金	△305	△305
投資その他の資産合計	1,971,372	2,239,819
固定資産合計	4,831,448	5,030,733
資産合計	13,245,550	14,488,275

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	133,273	192,671
短期借入金	—	150,200
未払金	144,643	141,755
未払法人税等	118,957	288,279
前受金	553,127	—
契約負債	—	545,703
賞与引当金	64,229	173,174
役員賞与引当金	1,200	—
製品保証引当金	8,000	7,000
その他	39,942	51,157
流動負債合計	1,063,373	1,549,941
固定負債		
長期末払金	17,870	15,020
繰延税金負債	102,700	67,335
株式給付引当金	52,784	65,206
役員株式給付引当金	80,879	91,965
固定負債合計	254,234	239,526
負債合計	1,317,608	1,789,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	651,370	651,370
資本剰余金	709,200	709,200
利益剰余金	11,578,237	12,285,668
自己株式	△1,496,040	△1,536,129
株主資本合計	11,442,766	12,110,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	508,422	464,364
繰延ヘッジ損益	△2,058	—
為替換算調整勘定	△51,599	94,909
その他の包括利益累計額合計	454,764	559,274
非支配株主持分	30,411	29,423
純資産合計	11,927,942	12,698,806
負債純資産合計	13,245,550	14,488,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
売上高	2,861,295	3,383,054
売上原価	1,977,512	2,269,044
売上総利益	883,782	1,114,010
販売費及び一般管理費	713,773	924,652
営業利益	170,009	189,358
営業外収益		
受取利息	26,143	25,186
受取配当金	22,058	24,607
補助金収入	55,853	17,456
投資有価証券評価益	17,142	12,586
為替差益	184,983	814,127
その他	17,098	22,269
営業外収益合計	323,280	916,233
営業外費用		
支払利息	384	97
その他	69	465
営業外費用合計	454	563
経常利益	492,834	1,105,027
特別利益		
固定資産売却益	196	1,891
特別利益合計	196	1,891
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券評価損	12,943	—
特別損失合計	12,943	0
税金等調整前四半期純利益	480,087	1,106,919
法人税、住民税及び事業税	155,802	374,194
法人税等調整額	△6,804	△20,298
法人税等合計	148,997	353,896
四半期純利益	331,090	753,023
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,305	△3,862
親会社株主に帰属する四半期純利益	338,395	756,886

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
四半期純利益	331,090	753,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,104	△44,057
繰延ヘッジ損益	△4,166	2,058
為替換算調整勘定	35,208	149,383
その他の包括利益合計	116,145	107,385
四半期包括利益	447,236	860,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	453,237	861,396
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,001	△987

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これによる主な変更点として、従来一部の製品販売において、「製品」と「据付・納入試運転サービス」を別個に受注していた場合、それぞれの検収時点で収益を認識しておりましたが、「据付・納入試運転サービス」の検収時点に一括で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。また、収益認識会計基準等の適用が当第3四半期連結累計期間の売上高、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」として表示することとしております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。